

様式第4号（第10条関係）

喫煙・裸火使用等申請書

(1) 年 月 日		
奈良県広域消防組合 (2)消防署長 様		
申請者(3) 住 所 (電話) 氏 名		
防火対象物所在地	(4)	
名 称	(5)	用 途 (6)
申 請 の 内 容	(7)	
申 請 の 期 間	(8)	
申 請 の 理 由	(9)	
申 請 の た め 講 じ た 措 置	(10)	
そ の 他 必 要 な 事 項	(11)	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

【記入要領】

項目	記入要領
(1) 年月日	消防署に届出する年月日を記入します。
(2) 宛名	防火対象物を所轄する消防署長宛とします。
(3) 申請者	・行おうとする禁止行為に関して責任が明確な者（建物の所有者・防火管理者、イベント主催者等）の、住所、氏名、電話番号を記入します。 ・法人の場合は、法人の所在地、名称および代表者の職・氏名・電話番号を記入します。
(4) 所在地	防火対象物の所在地を記入します。
(5) 名称	・防火対象物の名称を記入します。 ・管理権原者が防火対象物の一部を占有等している場合は、防火対象物の名称を記入し、かつ書きで当該占有等している部分の名称および階数を併せて記入します。
(6) 用途	・防火対象物の消防法施行令別表第 1 に掲げる用途区分および項区分を記入します。 詳細は、参考事項の「令別表第 1 に掲げる防火対象物の定義」を参照してください。 ・管理権原者が防火対象物の一部を占有等している場合は、防火対象物の消防法施行令別表第 1 に掲げる用途区分および項区分を記入し、かつ書きで当該占有等している部分の用途区分および項区分を併せて記入します。 (例) 特定用途複合（飲食店）令別表第 1（16）項イ（3 項口）
(7) 申請の内容	許可を受けようとする禁止行為について記入します。
(8) 申請の期間	許可を必要とする期間を記入します。
(9) 申請の理由	許可を受けようとする禁止行為の内容を具体的に記入します。 なお、内容が複雑なものは別紙等に記入し添付します。 【裸火使用記載例】 ・ガスフライヤー〇〇kw、ガスレンジ〇〇kw、計〇〇kw ・ミニフレイマー 火炎の幅〇〇cm、長さ〇〇cm 燃料〇〇 消費量〇〇ml 【危険物品持込み記載例】 ・天ぷら油（動植物油類） 〇〇 L ・カセットボンベ（液化ブタン）容器の許容充填ガス質量〇〇kg
(10) 申請のために講じた措置	禁止行為の許可を求めるために講じた措置を記入します。 (例) 使用するガスフライヤーの付近に粉末 ABC10 型消火器を 1 本追加で設置
(11) その他必要な事項	上記の内容に加えて必要な事項があれば記入してください。

ⁱ 管理権原者とは、防火対象物について正当な管理権を有し、当該防火対象物の管理行為を法律、契約または慣習上当然行うべき者をいいます。